

令和2年第1回定例会（6月議会）

教育公安委員会提出資料
（所管事項審査関係資料）

令和2年6月18日

教 育 委 員 会

目 次

総務課施設整備室・義務教育課・高校教育課

- ・令和元年決算特別委員会において「検討する」旨
答弁した事項の検討状況について 1

高校教育課

- ・第七次秋田県高等学校総合整備計画
【後期計画】（素案）について 別紙

令和元年決算特別委員会において「検討する」旨答弁した事項の検討状況
(令和2年6月18日 現在)

部局名：教育委員会

「検討する」旨の答弁を行った事項	その後の検討状況
<p>【質問要旨】 建設業の週休2日制の導入を後押しする必要があるが、工期設定について考慮しているか。</p> <p>【答弁要旨】 建設部営繕課で積算や工事の組み立てを行っているので、それを勘案した工期設定等について今後検討したい。</p> <p>(答弁者 総務課施設整備室長) (所管課 総務課施設整備室)</p>	<p>建設業の週休2日制の導入について、建築工事は下請け職種数が多いことから、現在、業界団体と意見交換を行い情報収集している状況である。</p> <p>なお、今年度から校舎建設の工期をこれまでの16か月から20か月に延長するなど、週休2日を想定した対応を行っている。</p>
<p>【質問要旨】 今後、プログラミング教育を推進することと高い学力を維持することについて、教育現場はジレンマを感じていると思うが、どうか。</p> <p>【答弁要旨】 ICT活用の能力の向上と学力の向上について、これからは総合的に考える必要がある。学校教育においては、子どもたちが自立したくましく21世紀を生き抜く力が身に付くよう、様々な角度から検討し対応してまいりたい。</p> <p>(答弁者 教育長) (所管課 義務教育課)</p>	<p>ICT活用の能力と学力との関係については、「情報活用能力」を児童生徒に育成したい能力の一つとして整理し、「第3期あきたの教育振興に関する基本計画」(令和2年3月策定)及び「令和2年度学校教育の指針」に示しており、学びの質を高めるためのICT活用や小・中・高等学校段階を通じた系統的なプログラミング教育の推進などに取り組むこととしている。</p>

「検討する」旨の答弁を行った事項	その後の検討状況
<p>【質問要旨】 寮の有効活用については、人口減少対策の1つとするなど、いろいろな観点から考えてもいいのではないか。</p> <p>【答弁要旨】 寮や寮に相当するような施設をこの後どうするかについては、現時点で、県全体として一律にどうするか具体的に出すことはできない。まずは個々に検討する必要があると思っている。</p> <p>(答弁者 教育長) (所管課 高校教育課)</p>	<p>入寮者数に関しては、毎年一定数を維持している学校や、以前と比べ半減している学校、県外生徒の割合が高い学校など個々の学校事情により違いが出てきている。</p> <p>また、令和元年度の前期入学者選抜から、県外の入学枠を「募集定員の5%から10%まで拡大」したこともあり、この効果をもうしばらく見極めていく。</p>